4年間の感動と反省は

市長 皆さんのおかげでやってこれた

丹政会
吉浪 芳郎

問 中山市長には今日までの約1期4年間、京丹後市のリーダーとして頑張っていただいた。この4年間をふり返り市長として感動されたこともあるでしょう。また、自ら反省をされたこともあるでしょう。この4年間の想いを尋ねます。

市長 平成16年4月に市民の皆様のご信託をいただいて、初代の市長に就任させていただきました。これまでの約3年と半年、議員の皆様のご指導と、市民の皆様のご協力、ご支援を賜り、また、職員の皆様、関係者の皆様のご尽力を賜りながら、市長の重責を務めさせていただくことができました。すべての皆様に深く感謝を申し上げます。ふり返りますとこの間いろんなことがありました。皆様には色々とご心配をかけることもあった。改めて深く反省させていただいております。

問 初代市長としてこの4年間、京丹後丸の舵取り役として嵐の時も、穏やかな時も市民の皆さんをはじめ大勢の皆さんに支えられてやってこれたと私も思う。また、市役所内部においても部、課長とも市政細部にわたり協議を重ね、財政をはじめ産業、建設、福祉、教育、時には災害対策について先頭に立って行政を進行し、市民のための政治を幹部職員の意見を取り入れ、市民のために尽くしてやれたか。

市長 皆さんと一丸になってやってこれた。

品目横断対策について

問 本年4月より加入受付をしている品目横断的経営安定対策における、町単位の認定農業者個人に対しての加入状況は。

市長 大宮町1人、峰山町1人、弥栄町11人、丹後町5人、網野町6人、久美浜町10人、本市全体で34人だ。

かぶと山一帯を観光スポットとした開発を

市になって早いもので4年が経つ

私の提言に対する四年間の総括

市長 進行中の事例もあるが対応できている

丹政会
谷口 正博

問 今日まで、13回の一般質問をしたが、結果の見えない点を再度確認したい。

観光の情報発信は成功例湯布院にみならい東京に求めるべきだ。

市長 今秋京丹後ふるさと応援団をつくり、協力を受ける。また、東京丹後人会の結成も進める。

問 市内の観光のスポットの一つに甲山（かぶとやま）一帯の農業施設と絡めた開発を考えているといわれたが現状はどうか。

市長 体験観光の一環として農業施設と観光を絡めた計画を進める。

問 農家の減少を止める対策として販売ルートの開拓はできたのか。

市長 地産地消をめざし市内団体の協力を得て朝市直売マーケットの開催をしている。都市部へ販路拡大をめざすグループの育成支援をしていく。

問 担い手から外れた農家への支援は。

市長 経営が成り立つよう機械の共同購入や農地の利用調整を指導している。

問 有害鳥獣対策は進んでいるか。

市長 猟友会員に支援を願い捕獲班37人を増員した。くくりわな指導もお願いしている。

問 包括医療ケアは進んでいるか。

市長 地域包括支援センターを設置し、市民局単位で地域ケア会議を開催し、充実する。

問 市民病院経営の効率化を図ることが大事だが、まず常勤医師の確保が大切ではないか。

市長 同じ思いである。

問 久美浜の「子供の主張発表会」を聞いて、学校教育に利用する考えはないか。

教育長 久美浜町内にはプリントを配布しているが、今後全校への配布も考えていく。

問 特別支援教育が必要な児童の入学があれば対応ができるのか。

教育長 該当児童の入学があれば対応する。

各業種の仕事づくり

市長 工夫を凝らし取り組む

丹政会
松尾 信介

農林水産業等の仕事

問 経済不況の中、各業における仕事づくりは、新たな交流を生み、移住の若者やUターンの若者を生む。考えは。

市長 農業団地利用は大手の参入がある。いのしし・鹿肉の有効活用研究会が料理の研究開発を、林業では府・国の補助で保育、除伐等森林資源の維持保全活用を、水産業では資源管理や、栽培漁業の推進で漁獲の安定を図り加工事業にも取り組んでいる。

問 クラインガルテン等交流事業は、日帰り都市型交流から滞在型交流へ、何度も訪れるリピート型の転換は、新たな雇用の創出が生まれ、休耕農地の解消や地域活用が考えられる。丹後海の魅力発信もあり〝田舎暮らし体験ができ畑も持てる〟〝作った野菜は自由に〟等都会人の田舎暮らし、こんな体験施設の導入の検討はできないのか。

市長 丹後大宮の国営農地で、民間オーナー制度の取り組みがある。久美浜では検討段階だ。

森林整備と施設利用

問 森林整備を市民、事業者及び区が、森に吸収させ温暖化対策と整備過程の間伐や下草狩等の仕事づくりを行う所があるが。

市長 森林整備は温暖化対策、防災、鳥獣被害等多様な意義がある。

問 次代へ残す琴引浜の白砂青松の事業、間伐や地掻き、松苗植林作業等を行うために、森林管理者を置き公園の保全活動を行ってはどうか。

市長 天然記念物・名勝に指定されたその活動は貴重な宝、次代につなげていくための活動をバックアップする。

問 野外学習活動にスイス村の利用を。

教育長 校長会で利用について話しをする。

間伐作業の風景

水道はコストのかかった貴重な資源

増加する各種料金の徴収体制の整備を

市長 早急に専任の組織・体制づくりを考える

丹政会
石河良一郎

問 各種料金の未収、滞納金の増加している現状が憂慮される。受益者負担の公平・公正の観点から、早期徴収が大きな課題である。現状と対策を問う。

市長 各種料金の滞納は多額になっている。主なものを挙げると、水道料金は10月末現在で1億3，000万円余であるが、徴収業務にあたる専任体制がとれず、滞納者が1，200人ほどあり、市域が広いことから手が回らない現状にある。

保育料については11月末までに3，500万円を超える滞納金があり改善できていない。保育所長にも徴収に必要な徴収吏員証を交付して、体制の強化を図っている。

市立病院の診療費未収金は10月末で5，300万円程度あり、訪問徴収の体制も強化している。

市営住宅使用料も10月末で240万程度の滞納額があり、支払誓約書の提出、連帯保証人への通知を行い徴収に努力をしている。

問 滞納金額の減少、減額につながる具体的な方策が見えない。時効による権利消滅で不納欠損処理が増加することが懸念される。専門的な徴収チームを置き、専任の徴収組織体制づくりが必要だと考えられるが。

市長 可能な限り速やかに組織体制づくりを進める。

地上デジタル放送についての広報を

問 本市でも地上デジタル放送の受信が可能となったが、市民の地上デジタル放送への理解が低いと思われる。市民への周知、広報を強く進める必要がある。

市長 ブロードバンド事業を進めるうえでも地上デジタル放送への理解が不可欠であり、あらゆる機会を活用して積極的に広報する。

交通安全対策について問う

市長 自治体の大きな使命と認識している

丹政会 池田 恵一

問 交通事故の原因は個人の責任に帰る場合が多いが行政の責任を問われるケースもある。市長にも、市民の安全、安心を守る責務が課せられている。交通安全に対する市長の思いを問う。

市長 市民の命を守ることは自治体の大きな使命と思っている。関係機関と一緒になって様々な手立てをしなければならない大きな課題と認識している。

問 市長は10月12日の交通事故の後「交通事故多発非常事態宣言」を出し管内の危険箇所を調査した。この調査の目的と調査結果を問う。

市長 市の交通安全対策協議会で危険箇所の再点検を行う方針がだされた。結果市内68の区合計163件の改修の要望があった。内訳は国、府道の改修、信号機の設置であった。市でできるものは今回の補正予算で対応した。

問 今年度、交通指導員を47名から12名に大幅に削減した。交通安全の目的に反するのではないか。削減された意図を問う。

市長 旧町ごとの活動内容が雑多であった。本来の業務に戻すこととし、人員を削減した。交通教室も18年度12回から19年度すでに56回実施している。経費削減のために減らした訳ではない。今後、しっかり検証していきたい。

問 宇川地区の通学路については、道路幅もせまく非常に危険で以前から改修の要望をしている。府への要望は実現まで時間がかかる。通学路の安全確保をどのようにしていくのか。

教育長 今回の事故をきっかけに大きな動きができたと思う。PTAと地域が一緒に安全確保への取り組みを進めている。教育委員会も全面的にバックアップしていきたい。

望まれる交通安全対策

市内希少野生生物の保護を（写真はトウテイラン）

指定管理者制度導入目標の達成度は

市長 当初目的に対応し、管理されている

丹政会 原 久

問 現在までの管理制度導入施設の管理状況は。

市長 入りこみ客数がかなり増えている施設もあり、適宜順調に管理されていると理解している。

問 制度移行目的がしっかりと担保されているかどうかは、どこの部署が判断しているのか。

市長 所管部局で対応している。不備などが見つかれば、行政として指導も行っている。

問 各施設は、色んな所管部局があるが、その基準や検討課題は統一・整理されているのか。

市長 統一されているが、今後は、指定管理契約を審査する「指定管理者選定審査会」の組織を充実させ、その任務に当たれるようにしていきたい。

問 今回、大型改修の要望調書を取っているが、目的と状況は。

市長 予算編成にあたり必要な整備かどうかを公正・透明性をもって調査し、緊急性のあるものから対応していきたい。

水産資源の保護・活用

船舶不法係留の一掃を

問 自然に恵まれた京丹後市の水産資源保護をどのように考えているのか。

市長 景観も含め、当市の特色を活かしながら工夫し、保護も考えていかなければならないと思う。

問 市内の船舶不法係留をどのように認識、対応しているのか。

市長 網野町・久美浜町からも要望を聞いている。京都府に問い合わせているが、苦慮している。

希少野生生物の保護

問 市内希少野生生物（トウテイラン）の認識と保護状況は。

教育長 貴重なものと認識している。

産業政策の積極的な展開が必要

市長 産業政策は大きな課題

丹政会 大同 衛

問 諏訪地域工業メッセに参加して、産業支援の重要性を痛感した。産業支援の思いは。

市長 産業政策は本市の大きな課題である。基礎条件の整備などの取り組みにより、経産省の「企業立地に頑張る市町村20選」に選ばれたが、さらに体系的な取り組みの必要性を感じている。

問 緊急経済対策の実施後も織物業は厳しさを増している。ダイレクトをはじめ修理部品や機料品への支援が必要ではないか。

市長 丹工などに必要性を確認し支援したい。

問 織物は丹後の看板。府や京都市は伝統産業支援の条例を制定し、明確な根拠で支援している。現行の裁量行政では無理が生じないか。

市長 産地として粘り強い支援が必要であり、しっかりと条例として位置づけることも必要だが、他市の取り組みも勉強し、国府の指定を補う内容を考えたい。

問 公共事業入札において、他市では透明性・競争性を確保しながら、地元企業に発注するべくさまざまな工夫が行われている。地元雇用などの条件を設定した「事後評価式一般競争入札」など、地域経済にも貢献する公共発注方式の構築を。

市長 公正・透明を前提に、他市の事例などを基に許される制度を活用し、地元の経済のために十分留意したい。

問 森本工業団地造成など大型工事の地元発注・JVなどの考えは。

市長 本市の経済を考えるなかで、適正な範囲での分離発注など、地元事業者を公正・透明なかで活用したい。

問 地域間競争下で、産業政策の積極的な展開が必要。市の方針を明示する産業振興計画や条例が必要では。

市長 計画や条例の必要性を意識しながら幅広く検討していきたい。

整備が決定した森本工業団地

市民局の強化で地域力の向上を

全市域で公平な汚水処理料金を

市長 数年後の値上げ時に検討する

丹政会 森口 亨

問 市長や審議会は、宅内ポンプやブロワの電気代を負担している市民の意見を聴いたか。

市長 市民には申し訳ないが聴いていない。

問 審議会は「慎重に検討されたい」と答申されたが市長の結論は。

市長 汚水処理区域は行政が強制的に指定しており、負担は平等であるべきだ。下水道料金を値上げする時、負担のあり方も検討する。

問 具体的にいつか。

市長 財政状況も含め次期市長の判断だが、整備が進む平成22年から23年が目安になる。

市民利益中心の調達を

問 同一条件なら市内調達が市民利益になるのは当然だ。条件が違っても「何%または何円までの差なら市内調達した方が市民利益になる」といった定量的な分析はしているか。

市長 分析していない。

問 価格・技術提案・地域貢献度・緊急時対応力等を総合的に評価して落札者を決定する総合評価方式の検討は。

市長 様子を見ている状況だ。現在は指名競争入札の地域要件で対応している。

問 仕事の質と原価を市民利益が最大となる点でバランスさせるため、市役所でも原価企画活動が必要では。

市長 事務事業評価の中で取り組んでいる。

市民目線の組織改革を

問 職員数が何人になれば本庁機能を一箇所に集約できるのか。

市長 峰山庁舎の収容能力は約130人。

問 本庁機能の集約を検討しているか。

市長 必要性は高いが検討はしていない。

問 本庁機能の集約には、市民局の機能・権限強化による地域力の向上が必要だ。合併特例期間が終わっても市民局を維持できるのか。

市長 特例期間終了後も市民局は維持する。

問題行動の取り組みは

教育長 **子供たちの育つ環境を整えること**

公明党 松本 聖司

問 全国の小中高が認知した「いじめ」は、前年の約2万件から6.2倍の約12万5千件であり数字の変化は衝撃的である。当市における「いじめ」「暴力行為」「不登校」について、どう対策をとってきたのか。

教育長 当市では、「いじめ」について大きな変化はない。内在しているものを掘り起こすことが大切である。また、不登校はかなり多いと理解している。個人の原因を探ることが必要であり、解決には、周りの人とコミュニケーションをとることに尽きると考えている。

問 「いじめ」のサインの総点検を学校、地域社会、家庭を巻き込む形で行うことが必要と思うが。

教育長 家庭と共有していくよう努力する。

問 教員の仕事量、事務作業が多く、子供とのふれあいの時間が不足していると考えるが。

教育長 軽減していくべきである。多くは、対人的な関係の中でとらえられている。

問 子供たちがその解決を目指す活動が必要と考えるが。

教育長 ぜひ、そのような具体的な取り組みを高めていきたい。

5歳児健診の導入を

問 発達障害者支援法は市の早期発見・療育の責任を明確にした。厚労省の報告による5歳児健診を実施している鳥取県で9.3%、栃木県で8.2%の割合で発達障害を疑われている。しかし、半数以上は、3歳児健診で問題を指摘されていない。就学前健診で把握できないので、5歳児健診が必要と考える。

市長 5歳児前後での健診が必要との問題意識はある。小児科医などの体制の整備と健診技術が確立していない。今できる努力と研究を重ねていく。

より分かりやすい財政開示を（『広報きょうたんご』より）

寄付を募り事業を実施してはどうか

市長 **前向きに検討をする**

公明党 池部 皓三

問 市は財政上、住民の皆さんの多様な要望には、ますます対応が難しくなっているばかりか、応分の役割さえ担っていただかなくてはならなくなっている。

市民の皆さんや、全国の方々に自然保護、福祉、防災、教育、文化・芸術の振興など政策メニューを掲示し、使途を選んでもらい寄付を頂いたらどうか。

基金として積立て、目標額に達したら事業を実施する。寄付をした人の望みも反映される取り組みである。

市長 非常に関心を持たされる仕組みで、検討する上で意義深い時期を迎えていると思う。

国の「ふるさと納税制度」導入が具体化する状況もあり、このように寄付を頂き、まちづくりに具体的に参画、実感をしてもらう仕組みを考えることは、行政にとっても非常によいことではないか。

全国で15道府県、27市町村で導入されている。その実効性、状況を勉強し前向きに研究、検討をさせていただく。

財務書類の公表

問 総務省は、財務書類のモデルを示し、「分かりやすく住民に理解できる公表」が「最も大事だ」と指摘する「通知」を出している。

市は、どのように認識し、作成を考え、公表・広報をするのか。

市長 財政運営の基本、骨格が国から法律上で求められている。「通知」の趣旨をしっかりと承りながらできるだけ詳しく、分かりやすく作成して周知と広報に力を入れ努力したい。

また、総務省のモデルを基本に、分かりやすくする様式に取り組んでいる。明年3月末、平成18年度決算での普通会計を基礎に、財務4表を作る予定であり、国の求める平成21年度の公表には、十分間に合うつもりである。

スポーツ大好き

永年の課題!! 尾和用水改良について

市長 **事業採択は平成23年度**

輝友会 浅田 武夫

問 昭和32年の丹後町報によると「尾和用水完成、米5百石の増産水不足に終止符」、昭和23年米軍の文殊駐留はその用水を袖志落川に求めその代替施設として、総工費2，570万円全額国庫負担で総延長3.8kmの送水施設完備と記載されている。以来50年、老朽施設の破損頻度は年々加速し土地改良区、関係区の維持管理負担増の重圧で約百人が脱会希望で、組合員は3分の2減の55人、面積は2分の1減の11haと限界の状況である。今回有利な事業を利用して早期事業化採択について聞く。

市長 施設後50年は相当老朽化、修繕頻度は高まっている。部内で早期の事業化に向けて意志統一しているところ、順調にいけば23年度事業化採択に向けいろんな手を使い早期努力する。

問 受益者負担率の軽減と事故費の軽減策は。

市長 地元負担軽減を考慮して、高補助率の国庫補助事業を考える。また、基地交付金は固定資産税の観点であり、他の防衛省、農水省補完もお願いする。埋設後の緊急破損等は市の単独事業で軽減する。

問 去る11月発行の両丹経済新聞によるよさランキングによると、京丹後市は北近畿9市の中で最下位。また全国都市では783市の中で712位、詳しい資料は07年版東洋経済新報(東京都)発行である。私は正直、唖然とした。感想と対策は。

市長 分析するとデータ指標が少なく、特に田舎のもつ良さの指標が少ない。とても迷惑である。いろんな意味で住みよい町づくりに取り組んでいく。

問 農商工連携が新法で法制化される。活用は。

市長 期待感を持っている。懸命に努力したい。

問 病院から遠隔地の住民にとって診療所は命綱。特に高齢化が著しい山間へき地での役割は重要。健康と医療の公平性のもと、診療日数が激減した野間や五十河地域での住民の健康や疾病管理の一層の充実が求められる。

市長 医療過疎的な地域での予防や健康活動は大切。今後支援策を検討し予算編成に具体的な施策を出したい。

早急な整備が望まれる峰山駅の東口

尾和用水水源ポンプ庫（平区宇川）

峰山駅東口に車イス進入路の新設を

市長 **KTRと前向きに協議**

輝友会 行待 実

問 峰山駅正面の西口側は一定の整備が出来ているが、開発が進む東口側は未整備で京丹後市の玄関駅としては不充分。施設整備等の早急な対策が必要。

市長 整備は必要。財政的に早急な対応は難しいが、事業実施への構想は深めたい。

問 複線駅ではホーム間の階段による移動は車椅子利用者には危険で大変。峰山駅東口に車椅子の進入路を新設し安全で利便性の高い駅としての整備を。

市長 東口整備の一つとして必要性をKTRと前向きに協議する。

問 丹波交差点は改良後も依然としてラッシュ時の弥栄方面への右折は容易ではなく危険行為も多い。基幹的路線でもあり右折信号の設置を。

市長 危険性について共通の認識があり信号の必要性を感じる。警察に強く要望したい。

問 網野岩滝線は地域にとり重要な路線であるが交通量の多さに比較して狭く危険な道路。特に未整備の外村地区は車の交差も難しく危険性の高い道路として子供や老人の安全性が危惧される。整備計画から15年が経ち住民の願いも強い。早急な対応が望まれる。

市長 府も重要な路線としており外村区間には予備設計の予算が付いている。ルートや用地確保の目途がつけば事業は加速的に進む。

通学路の交通安全対策は

教育長 PTAや地域の皆さんの力が大切

輝友会
高山 充男

問 市が交通安全施設等に係る緊急再点検ということで、特に子供達の通学路における点検を区長に依頼された結果、68区から163件の報告がなされたとのことである。

これについて、どう受け止めているのか。

市長 高龍中学校生徒会長さんから真剣な思いのこもった手紙をいただいたことをふまえて、また、本市で今年7名の死亡事故が発生という事態を重く受け止めて、京丹後市交通死亡事故多発非常事態宣言を行った。

必要な交通安全施設の整備については、順次できるだけ速やかに進めていきたい。

教育長 今回の事故はあまりにも加害者側の一方的な過失ということで、私たちに大きな不安を与えた。

いかに安全を確保するかということについては、PTAや地域の皆さんの力を借りることが非常に大切であると思う。

問 通学路における交通安全対策について、どう考えているか。

教育長 子供達が自ら安全の意識を高めて、登・下校のマナーを守ることが基本であり、父兄にもそのことの理解がいただきたい。

また、登・下校の子供に出会った時に、大人としてどう対応するか、自分の子供、地域の子供でなくても、安全の気持ちをお互いにどう接していくか、そのことも道徳教育の一環として取り組まなければならないと思う。

問 国・府道で歩道も路肩部分も余裕がないといった危険箇所が多々ある。関係機関へ強く要望されたい。

市長 府もよく承知されているので、優先順位をつけながらやっていただけると思う。

問 通学路の除雪は。

市長 区への除雪機貸与の中で依頼したい。

スタート、幼保一体化施設・丹後町

貝になってしまった市の職員

市長 更に心や気持ちを共有したい

輝友会
奥野 重治

問 不況対策で1千万円補助の割引商品券は一般商店の売上高で評価すべきと考えるが。

市長 若い人達が更に着物に親しむ事業を展開していく。

4年間の功罪は

問 "まちづくりは人づくり"と言うならば行政として、明日のまちを担ってくれる子ども達がどう育ってほしいのか、子育てをどの様にして支えるのかがテーマだと、私は旧町時代からこの重要性を訴え、本年度やっと本格的に幼保一元化策の検討が始まった。これは「功」として評価できる。一方で、自治体経営の視点から評価できないのは市長の独断で、旧町時代からの原発調査の受入れを拒否されたことである。受入れ拒否で本市が失った多様で多額な補助金の制度が他にあるのだろうか。

市長 推進を明言しないと補助金が出ない状況であり、断った。

問 「今の役所には仕事はせずに、作業ばかりする人達が大量にいる」という市民の声がある。貝になってしまった職員に、誰がしたのだろうか。「職員は仲間だ」と言われる市長の真意は。

市長 職員の皆さんと心や気持ちを共有して各々の職責を果たしたいという思いだ。

自然環境への心配が

問 京丹後市は環境循環都市をめざし、自然環境との共生や保全、生命の循環をテーマにしている。鳴き砂天然記念物のある掛津地域での、大型採砂工事計画は。

市長 環境に悪影響がない事が証明されなければ、同意できない。

多くの道路で歩道や拡幅の整備が望まれている

市民と関係地域の理解で公害のない施設を

市長 今後の基本方向は指摘を踏まえて

市民派クラブ
井谷 實夫

問 市内に必要な「し尿やごみ等の処理施設」であるなら、地元に対して最初から迷惑料とか協力金とかでなく、悪臭とか水質汚濁等の公害を出さない施設整備を図り、関係地域や市民の理解を得る努力をしないと、これからのまちづくりはできないと考えるが。

市長 これまでの経緯や判断はあったとしても、今後の方向はご指摘の点が基本かなと感じている。

問 まちづくり基本条例の制定と合併5周年を記念して、わがふるさと京丹後市民の誇りうる市民憲章や市の歌等を制定すべき時だ。来年度に関係予算を計上する考えはあるか。

市長 とても大切な問題だ。合併5周年記念行事を21年度とすると、来年は制定の準備が必要だ。そのタイミングで予算化したい。

問 自治体の財政計画や予算編成では、国の雪だるまのような借金体質が大きく影響し、どこの自治体もピンチだ。真の地方分権も危ういし、官僚の天下りや癒着、政治家の口聞きやモラルの低下など、国民の政治不信は深刻だ。市長はこれら国の財政状況をどう認識しているのか。

市長 国も、国債90兆円を抱え、プライマリーバランスも大切だが、抜本的な取り組みがやや不十分だ。考えていく余地があると感じている。

問 本市では、行政改革の推進や事務事業の見直し等で、財政健全化への努力が数値に表れつつある中、20年度予算編成の基本方針は。

市長 新規と骨格の線引きも微妙だが、選挙を控え、厳しい中で骨格予算が筋だと認識している。

教育委員長 教育環境の整備を基本に、耐震や老朽施設を中心に予算要望していきたい。

地域に理解される公害のない施設に

黒大豆の出荷風景

悲惨な交通事故が多発

市長 真剣な願い重く受け止めている

市民派クラブ
野村 重嘉

問 去る10月12日早朝に、国道312号において、トラックがセンターラインを越え登校中の女子中学生2人が亡くなられるという、悲惨な事故が起きました。改めてご冥福を心からお祈り申し上げます。これを受け高龍中学校生徒会から「私たちの生命を守って下さい」という訴えが市長・教育長に出された。市長の思いを聞く。

市長 生徒会の思いを真剣に受け止め、交通事故撲滅の啓発活動、あらゆる安全点検を行い京丹後市としてできる部分からの整備を行いながら、同時に国・府に要望を上げた。

4年間の米政策と品目横断的安定対策について功罪は

問 4月から動き出した米政策は、参院選での自民党の大敗、2007年産米価の大幅下落を受けて、作り過ぎた米どう生産調整するのか、施策の見直しを行うべきだ。

市長 現在米の対策については正直なところ機能出来ていない感じでおり、米の生産過剰で市場に大きな影響が出ている。米の緊急対策でさまざまな議論がされている。そういった事を踏まえ、市として下支えができるものについては検討する。

問 品目横断的経営安定対策の加入要件の見直し。作物要件の見直しを行うべきだ。

市長 品目横断の制度の関係については規模に対して緩和措置をお世話になっている。今後はこれに加えて更に緩和措置もお願いしたいと思っている。作物要件についても黒大豆・小豆等についても対象になるよう要望している。支援策についても地域にあった農業者の応援ができるような政策の見直しに努める。

過疎・高齢化集落の雪対策を臨機応変に

市長 市、社協、地域が連携して対応する

双輪会 中西 敏行

問 最近は、高齢化率50％を超える限界集落が、市内に14集落あり、準ずる集落もかなりの数がある。

こうした地域にとって、冬場の生活に関しては、行政支援が不可欠だが、さしずめ雪による被害が想定されている。

市民局や建設部等の関係部局において、過去からの大雪の対応策が引き継がれ、地域の実態に即した臨機応変の対応ができるか。

また、雪下ろしなどの人的・物的支援体制は、万全の準備ができているか。

市長 17年の大雪の際に得た教訓や対応策は、各部局で確実に引き継がれている。今冬も市、社協、地域が連携して対応する体制で、万全を期している。

雪下ろし等の支援も17年同様に行うことにしているが、労力不足を解消する方策は、地域と連携して事前に検討し、対処できるようにする。

行革と職員採用

問 定員適正化計画は順調と思えるが、職員削減実績や効果を見極めながら、新しい風、新しい目をもった新規職員を採用して、組織に活力を生む必要があると思うが、市長の考えは。

市長 適正化計画は、削減数も費用額もほぼ計画どおりに進んでいる。

合併直後は、行革の早期達成という観点で、欠員不補充を決めたが、急激な削減は、結果として、組織構成上やサービス提供に、何らかの支障がでることも考えられ、若干、組織にきしみも感じられる。

来年度以降、人材確保の点からも、新規採用も必要であると認識している。

臨機応変　雪対策

弥栄町のバイオガス発電所

環境基本計画で持続可能な社会を作れ

市長 市の環境の指針を示す計画を作る

無会派 松本 経一

問 環境基本計画は市の環境の理想像を明らかにし、それに向かって、市民・事業所・行政が一体となって取り組むための重要な計画だ。計画策定には多くの市民参画と、具体的な目標数値や達成年度、計画の進行管理や検証のための具体的な指標を入れねばならない。

また、毎年の達成状況の報告は欠かせない。

市長 計画策定には多くの市民に関わってもらう。目標数値や指標はできるだけ入れ、定期的な達成状況の報告も頭に入れ、実施効果の高い計画にする。

問 弥栄のバイオ発電所をもっと市民にとって価値ある施設にする必要がある。施設の利活用や市民との連携の具体策を、環境基本計画に明確に数値化して入れる必要がある。

市長 発電所については、計画策定の段階で、目標の数値化の努力が必要だと思っている。

問 古紙の回収方法が市内で不統一であり、可燃ごみに多くの紙が混じり、ごみ減量化の課題である。今後の古紙回収方針はどうか。

市長 今後は市内全域で方法を統一したい。共同作業所など回収団体との協議を行い、どのような方法が良いか検討する。

スポーツによる誘客と施設整備について

問 最近全国で自転車イベントの人気が高い。新たな誘客イベントに市でも計画できないか。

市長 観光とスポーツ両面を通じた交流人口の増加による市の活性化に努めたい。

問 人工芝サッカー場整備について現在の状況はどうなっているか。

市長 スポーツ振興審議会の意見を聞いている。財政と整備後の効果の見極めをしている。

教育長 最大の問題は財政である。

市立病院の将来についての考え方は

市長 民間病院と連携を深めつつ特色を活かしたい

無会派 早川 雅映

問 健康・医療を考えるとき、3つのポイントに気付いた。危ない（急性）の時にきちんと見てもらえる医療の体制。2点目は適正技術という観点。3つ目は心の満足度という観点である。もう一つ加えるなら、人任せ・お医者さん任せの健康から自分たち自らから健康を保ってゆくという姿勢が大切だ。病気になる前の未病状態で留めておくことが大切。

しかし、京丹後市の現実を見ると、百才以上の長寿の方が多いにもかかわらず、高齢者のインスタント食が非常に多く、糖尿病の罹患率が非常に高いという現実がある。また、アトピー・喘息の子供が多いという話もある。

市長は、「安心安全は絶対だ」という言い方をされることが多いが、そこで思考停止してはだめではないか。我々が本当に求めている医療の姿を掴む必要がある。ピンピンコロリという言い方もある。本当の欲求を掴み、限られたリソースの中で何が出来るのかを選択しなければならない。市長の市立病院の将来についての考えはどうか。

市長 議員の発言で医療にも思想や特色がなければならないと感じた。長寿や癒しを特色としながらの病院づくり、統合医療・予防医学、心の領域なども含めた特色を出したい。

問 公立病院改革懇談会のガイドラインは守らざるを得ないと思うが、これだけでは地域医療は守れない。舞鶴市答申では医療・保健・福祉の連携の重視を打ち出した。地域包括医療そのものだ。予防医学の重要性も指摘されている。心の満足度を踏まえ、3つを日本のトップレベルで実現しようとする中に突破するヒントがある。市長の意見は。

市長 全く同感だ。

とても好評な助産師外来

意見書　国へ提出

後期高齢者医療制度に関する意見書(要旨)

1．後期高齢者医療制度の保険料や70歳以上75歳未満の者の自己負担割合など高齢者の負担を急増させないよう配慮するとともに、所得に配慮した負担軽減策を一層充実させること。
2．医師不足を解消し、地域間の医療格差を是正するとともに、高齢者が安心して必要な医療が受けられるよう措置を講じること。
3．後期高齢者に対する保健（健診）事業については、医療費抑制や介護予防の観点から重要であるため、市町村国保における特定健診と同様の財政支援を行うこと。
4．保険料滞納者に対する資格証明書の交付にあたっては、生活実態に配慮した弾力的な運用とすること。

［結果］可決（全員賛成）

請願

「後期高齢者医療制度」の中止・撤回を求める請願

［請願者］全日本年金者組合丹後支部、仕事とくらし・農業と地場産業を守る丹後各界連絡会

［結果］賛成多数で趣旨採択（賛成25）

請願

京丹後市のすべての子どもたちに、ゆきとどいた教育を行うため、教育予算増額、教育条件整備、教育費父母負担の軽減等を求める請願

［請願者］子どもと教育を語る丹後の会

◇賛成討論　安定した人間関係の中で全ての子どもたちにたしかな学力を…。これはみんなの願い。市内にも、39人から35人という大人数学級がかなりある。これを解消する努力を要望するものだ。

◇反対討論　いま、京丹後市が取り組まなければならないことは、学校の統廃合とどうしたら子どもたちが健全に育つか、30人以下学級よりも今や少人数であることの問題点、これが本市では顕在化している。

［結果］賛成少数で不採択（賛成５）

市民の声

時代おくれ

大宮町奥大野
安田 康之

このほど、新たに丹後天橋立大江山国定公園が誕生した。丹後を売り出す良いチャンスだが、以前、大宮町では若者グループが駅名を「小町駅」にしようと提案したことがあったが実現できなかった。そこで改めて提案するのだが、大宮、峰山、網野をそれぞれ小町（または大宮小町）、羽衣（または峰山羽衣）、静（または網野静）と改名してはどうだろうか。人名が駅名になっているのは岡山県の彼の生誕地にある宮本武蔵駅が有名だが、女性の名前がしかも三つも連続するのはかなり面白いと思う。第三セクターの鉄道名も土佐くろしお鉄道もあるし、丹後口マンチック鉄道とか七姫鉄道とか遊び心も良いのではないだろうか。行ってみたい、乗ってみたいと思わせるような名前を考えてみたらどうだろう。

さて、還暦を過ぎた私もついにダウン。腰痛のため入院手術となった。忙しく突っ走ってきた報いか、休めという天の声か、50日近くもベッドから峰山の空ばかりを見ていた。音楽を聞き、本を読み、スルメをかじりながら寝っ転がっている自分。痛くなければこんな境遇もまんざら捨てたものではないと思ったりしたものだ。他人様に迷惑をかけないようにひっそりと暮らすのが私のポリシー。現代の便利さを少し享受しながら、出来る限り自然に近く生きたいと常々思っているのだが、ふと気が付けば世の中の流れにかなり遅れてしまっている我が家。パソコンもエアコンもなし、携帯電話も出掛ける時以外は「切」、ニワトリを飼い、つるし柿、梅干、味噌をつくり、時々ソバを打ち、玄米を食べ、菜園を少々。暑さの夏は蚊帳を吊り、冬は寒くの田舎の生活はやっぱり良い。世の中、地球温暖化だ、エコ生活だといわれているが、もったいないという気持ちとビンボーなこの生活は、時代遅れかも知れないし、もしかすると周回遅れのトップかも知れない。結構快適なものだ。

話は変わるが、もう10年も前のことである。ちょうど真冬の2月、網野海岸の岩場で魚釣りの2人の若者が、急に荒れた波で陸へ戻れず、結局2人とも帰れぬ不幸な事故があった。実はこの時、兄は携帯電話を持っており友人に連絡を取りその救助を待ったのである。この時、もし携帯電話を兄が持っていなかったら助かっていたかも知れないのだ。若者は2人とも泳ぐことができたし、渡った小島と陸との間はハシゴが渡せるくらいの距離であったことで、大荒れになる前に海に飛び込めば直ぐに陸に届いたはずだったのだ。この時ほど携帯電話を恨めしく思ったことはなかった。私の友人である2人の父親の許可を得てここに記させていただきました。

そして、快適なマイペースのスローライフを楽しみながら、健康であることに感謝している。

あとがき

鍋物の美味しい季節である。その鍋物の食材として欠かせないものに蒟蒻（こんにゃく）がある。ノンカロリーでヘルシーな食物として様々な料理によく使われる。

以前、蒟蒻作りに挑戦した時のことである。ふと、「生の蒟蒻芋はどんな味がするものだろう？」との思いが頭をよぎり、小さな一切れを口に入れてみた。さあ大変！　口の中が大火事になった。砂糖を舐（な）めたって追いつかない。言葉では表現できない状態になったことを憶えている。

その昔、あのように変てこな美味くもない芋を、食べるということを考えた人に頭の下がる思いがした。

今の混沌とした彷徨する時代にこそ、このような発想が必要なのだと思う。

◎広報編集委員会

委員長　大下倉禎介
副委員長　松田　成渓
委　員　石河良一郎
〃　奥野　重治
〃　谷口　正博
〃　中西　敏行
〃　野村　重嘉
〃　松本　聖司
〃　行待　実

発行／京丹後市議会　〒627-8567 京都府京丹後市峰山町杉谷889　FAX 0772-69-0010　FAX 0772-69-0902　編集／広報編集委員会
京丹後市ホームページ　http://www.city.kyotango.kyoto.jp